



与論小だより

令和5年7月25日



ブログはこちら

学校教育目標：校訓「至誠」を胸に、未来に挑む子供の育成



マニュアルの先の感動

校長 岩元 輝美

早いもので75日(実際は台風接近による臨時休業で74日)間の1学期が、大きな事故もなく無事に終えられたことに感謝したいと思います。この1学期間で子供たちは様々な学習や体験活動等を通して大きく成長しました。皆様の学校教育への御理解と御協力に感謝申し上げます。

ところで、東京ディズニーリゾートは今年開園40周年を迎え、また、夏休みに入りさらに賑わっているようです。そのディズニーランドに関して、10年ほど前に話題となった「ディズニーランドであった心温まる物語」(東京ディズニーランド卒業生有志著 2013 あさ出版)という本を御存知でしょうか。内容はもちろん、その収益が東日本大震災で辛い思いをした子供たちにディズニーランドのパスポートを送るために書かれた本ということで話題となりました。その本から「お子様ランチ」という話を紹介します。

若い夫婦が2人でフードサービスに入りました。キャストは夫婦を2人がけのテーブルに案内し、メニューを渡しました。すると夫婦はメニューを見ることなく「お子様ランチを2つください。」とオーダーしました。キャストは驚きました。なぜなら、規則でお子様ランチを提供できるのは9歳未満と決まっているからです。キャストは「お客様、誠に申し訳ございませんが、お子様ランチは9歳未満のお子様までと決まっておりますので、ご注文はいただけないのですが…」と丁重に断りました。すると、夫婦がとても悲しそうな顔をしたので、キャストは事情を聞いてみました。

「実は…」と奥さんが話し始めました。「今日は、亡くなった私の娘の誕生日なのです。私の体が弱かったせいで、娘は最初の誕生日を迎えることもできませんでした。子供がおなかの中にいる時に“3人でこのフードサービスでお子様ランチを食べようね”って主人と言っていたんですが、それも果たせませんでした。子供を亡くしてから、しばらくは何もする気力もなく、最近やっと落ち着いて、亡き娘と一緒にこのテーマパークに来て、3人で食事をしようと思ったものですから…」

キャストは話を聞き終えた後、「かしこまりました。」と答えました。そして、夫婦を2人掛けのテーブルから、4人掛けの広いテーブルに案内しました。さらに「お子様はこちらに。」と、夫婦の間に子供用のイスを用意しました。やがてそのテーブルには、お子様ランチが3つ運ばれてきました。キャストは笑顔でこう言いました。「ご家族で、ごゆっくりお過ごし下さい。」この夫婦から後日届いた感謝状には、こう書かれていました。「お子様ランチを食べながら、涙が止まりませんでした。まるで娘が活着ているように、家族の団らんを味わいました。こんな体験をさせて頂くと、夢にも思っておりませんでした。もう、涙を拭いて、生きていきます。また、来年も再来年も、娘を連れて行きます。そしてきっとこの子の妹か弟を連れて行きます。」



このキャストの行為は本来ならばマニュアル破りの規則違反です。しかし、東京ディズニーランドでは誰もキャストの行動をとがめませんでした。それどころかキャストの行為はディズニーランドでは賞賛されたのです。お客様の立場に立って、「当たり前のこと」をしたというのです。マニュアルは基本でしかありません。マニュアルを超えたところに本当の感動が生まれたのです。正に子育てと重なる部分があるなあと感じました。

さて、21日から夏休みが始まっています。学校では、子供たちが主体的に夏休みを過ごすための指導をしましたが、夏休み中の子供たちの生活の基盤は、家庭が主体となります。「早寝・早起き・朝ごはん」「安心・安全」など『当たり前』が『当たり前』にできる』ように御留意していただきながら、普段できないことにじっくりと取り組んだり、いろいろな人とのふれあいを通して、社会性を伸ばしたりする機会にさせていただき、さらには親子での感動体験がなされたらと願っています。

子供たちの心身の健やかな成長のために、保護者の皆様、地域の皆様の御協力、御支援をどうぞよろしくお願いいたします。



～第42回遠泳大会～

6月30日(金)ついに遠泳大会当日を迎えました。この日のために4年生から6年生は、週に2回の練習をがんばってきました。はじめは泳げなかった4年生も平泳ぎを習得し全員が遠泳に挑戦しました。

「♪そーれ行け行け百合ヶ浜」の遠泳の音楽に合わせて、子供たちは隊列を組んで沖に向かって泳いでいきました。最初は順調に進んでいったのですが、途中から強くなってきた風に押し戻されてなかなか進めなくなっていました。



向かってくる波に逆らい一生懸命泳ぐ子供たちでしたが、子供たちの安全を考慮しコースを変更することになりました。残念ながら当初の目標の距離を泳ぎ切ることはできませんでしたが、長い時間、本当ががんばって泳ぎ続けることができました。砂浜に戻ってきた子供たちは、メダルを受け取り笑顔でゴールすることができました。

この日は PTA 事業部の方を中心に、4～6年生の保護者にも協力を頂き、砂浜のテントの準備やゴールした後のぜんざいとスイカの振る舞いの準備をしていただきました。子供たちが何度もお替りをしてぜんざいを食べる姿が印象的でした。

遠泳大会に向けて準備をしてくださった保護者の皆様、子供たちの伴泳をしてくださった方々、船やカヤック、マリッジットを出してくださった方々、多くの皆様の協力のもと本年度の遠泳大会を無事終えることができました。本当にありがとうございました。

着衣水泳

7月11日(火)本年度も B&G に協力を頂き、全学年で着衣水泳の授業を行いました。



服を着たままで水の中を動くことの難しさや、何も持たない状態で浮いて待つことの難しさを実際に体験しながら学びました。



また、もし溺れている人を見かけても、絶対に子供だけで引き上げようとしないで、大人の人を呼ぶことが大切だということも教えて頂きました。自分の命を守るための大切な学習になりました。

毎年、この時期子供たちの海での事故のニュースがあり、とても悲しい思いになります。夏休みの間、子供たちだけで海で遊ぶことが絶対に無いように、各家庭でも御指導よろしくお願ひします。

1学期終業式

7月20日(木)1学期終業式を迎えました。



終業式の中で児童代表のあいさつをした、1年生の登坂咲蔵さんは、1学期にがんばったこととして、「雨の日でも毎日歩いて学校に行くことをがんばった。」と発表しました。また、5年生の町田麗羽さんは、夏休みにがんばることとして「宿題を毎日する。メディア時間に気を付ける。安全に過ごす。」という3つの目標を発表しました。

1学期74日間、毎日子供たちが、元気に学校に通うことができるように、学校教育への御理解・御協力をいただきありがとうございました。

8月・9月の行事予定

【8月の行事予定】

- 1日(火) 出校日
- 14日(月)
- ～16日(水) 学校閉庁日
- 21日(月) 出校日



【9月の行事予定】

- 1日(金) 始業式 「いじめ問題を考える週間」～9日
- 5日(火) PTA総務委員会・理事会
- 7日(木) ぐーじゃー号来校日
- 9日(土) 土曜授業日 PTA愛校作業
- 14日(木) 授業参観 学級PTA 学校保健委員会
- 21日(木) 運動会予行練習